

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和8年1月16日

事業所名: いよっこリーナえがお

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
環境・ 体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	5	1	1	・利用児童の人数が多い時には、スペースが狭いと感じる時があります。	25					・指定基準を満たしています。子どもの特性への配慮やその日の利用人数に応じてスペースを工夫して対応しています。
	2	職員の適切な配置	4	2	1	・利用児童の特性、状態、状況によっては、職員が足りないと感じることがあります。	16		1	8	発作があるが、迎えに行くと一人で部屋にいる時があった。	・人員配置基準以上の職員数(保育士・児童指導員)を配置し、基準以上の人員は加配職員として対応しています。 ・その日の子どもの数や特性や状況に応じて職員を配置しています。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	6	1		・情報伝達に関しては絵カードを使用して、利用者さんに見通しがつくように支援している。	21	1		3		・子どもの特性に応じて適時環境を整えて、サービスを提供しています。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	7			和式トイレを洋式トイレに変更し生活様式に適した環境に整えました。	24			1		・居室空間や備品、送迎車の清掃の消毒は毎日行っています。また、換気も適時行っています。 ・建物の構造上、部屋数が多いためなるべく全体が把握出来るように、職員を配置しています。また、補完的な役割として、死角になるような場所には見守りカメラを設置して対応しています。
業	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	6		1	開所日と職員休日の差が大きく、情報共有等がスムーズにいかない時があります。						・日々の検証等は出勤日数の少ないパート職員とも、情報共有がスムーズに行えるように連絡ノート、公用携帯等を活用しています。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
業務改善	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	2	2	3							・今後前向きに検討していきます。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	7									・法人全体や事業所内での研修会、外部講師による発達研修、外部研修(対面・Zoom等)を行っています。
適切な支援の提供	1	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	6	1			24			1	公表されているのは知っているが、まだ確認が出来ていません。	・5領域に沿った支援プログラムを作成し、法人のホームページ上に公表しています。 http://www.asanagikai.com/kaiji
	2	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	7				25					・PDCAサイクルで、計画立案しています。また子どもの状況等変化があれば、随時変更しています。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	7				24			1		・子どもやご家族のニーズ、特性を考慮しながら、なるべく分かりやすく支援内容等を記載しています。
	4	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	7									・子どもの特性やご家族のニーズ等に合わせて、個別活動や集団活動をおりまぜて、支援計画を作成しています。
	5	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	7				24			1		・放課後等デイサービス計画に沿った支援を行っています。
	6	チーム全体での活動プログラムの立案	7									・職員全体で活動内容を話し合い、状況に合わせてより良い活動プログラムを立案しています。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	7				21	3		1	新しいプログラムも考えてもらっているなと思います。また、個人に合わせて楽しく出来るように配慮してもらっています。	・今後もその時々状況に応じて工夫しながらプログラムを立案していきます。子どもの特性、状況、人数等に合わせて活動内容の見直しを行い、より安全、より楽しく過ごせるように立案していきます。

[illegible]

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
関係機関との連携	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	7			・学校に迎えに行った際に報告のみの時もあり、十分とはいえない時があります。						・相談支援専門員との連携のもと、各学校とも必要に応じて適時連携を行っています。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	6	1								・相談支援専門員との連携のもと、各学校や関係機関等とも必要に応じて適時連携を行っています。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	6	1								・伊予市障害児サービス事業所定例会や児童発達支援センターが主催する研修会に参加しています。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	5	1	1		8		5	12	障がいのない子どもと活動する機会はなくていいです。	・適時外出の機会を設けて、公園や公共施設等で障がいがない子ども等と一緒に遊具等で遊び交流を深めました。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	1	5	1							・事業所内への地域住民等の招待は出来なかったですが、地域の子供会のお神輿や亥の子踊りの活動場所として事業所の駐車場等を提供しました。 ・地域の中学校の教育の一環として「地域調べ」の活動の際には、事業所を提供紹介し、地域への福祉啓発活動に協力しました。
	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	7				24	1				・契約時に支援内容や利用者負担額の内容、実費等について丁寧な説明を心掛けています。また、個別に問い合わせ等があった際にもその都度対応させて頂いています。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	7				25					・出来るだけ丁寧な説明に心掛けています。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	1	2	4		6	4	3	12		・今後も状況をみながら実施できるように計画を検討していきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	7				23	1		1		・毎回、連絡帳で日々の様子を伝えています。加えて、送迎時等にもご家族にその日のあった出来事等を詳しく話すように心掛けています。また、個別に写真や動画等を発信して子どもの様子がより詳しく伝えられるように心掛けています。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	7				22	2		1	・また参観日や面談する機会を作って頂けると嬉しいです。	・ご家族から相談があった際には適時対応させて頂いています。また、内容により事業所内だけではなく、各関係機関とも連携して対応し、助言等を行っています。 ・委託している言語聴覚士、作業療法士からも、助言等を行っています。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		3	4	・事業所の参観日等を定期的に開催し顔を合わせる機会を作りたい。	4	3	4	14	・先輩保護者さんの経験談をお聞きする機会があるといいなと思います。 ・なくてもいいです。	・保護者会は現在ありませんが、状況に応じてご家族参加の行事や交流等も検討していきます。 ・参観日等を適時開催し、保護者同士が顔を合わせる機会を作りたいです。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	6	1			18			7		・苦情受付相談窓口を設置して、窓口担当者及び解決責任者を配置しています。 ・第三者委員も設けており、事業所内で解決しない場合は第三者委員会で対応することになっています。 ・苦情については迅速かつ適切、丁寧な対応に心掛けています。 ・訴えることが難しい子どもには、いつもと違う様子が見られた時には、こちらから声掛けしたり、ご家族に相談しています。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	7				24	1			・言葉だけのコミュニケーションだけではなく、ジェスチャーや絵カード等のツール等を使用して、子どもの特性に応じた意思疎通や情報伝達方法を工夫しています。 ・ご家族とは、連絡帳や電話、送迎時の会話、個別の写真や動画等を通じて情報共有を行っています。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	7				24	1		・LINEが導入され、さらに写真を見る機会が増えたので有難いです。同封される会報も楽しみです。 ・活動の様子を写真や動画で共有してくださり、分かりやすく助かります。また、送迎時にも日々の報告をしてもらっています。ありがとうございます。	・行事予定については、各月初めに郵送にて各ご家庭に送付させて頂いています。 ・定期的な広報等で活動内容等を発信しています。また、日々の活動内容等は個別に各ご家庭に写真や動画等を発信しています。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	7				24			1	・個人情報の取り扱いには十分注意し、所定の場所にて適切に保管し管理しています。 ・契約時には個人情報の取り扱いについて、細かく聞き取り、確認を行い同意書を頂いた上で対応しています。 ・また、職員間でも個人情報に関するやり取りには細心の注意を払っています。 ・個別にやり取りを行うLINE等についても、同意を得た上で対応しています。
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	6	1			18	3		4	・各マニュアルは職員が確認、閲覧しやすいように事務室の所定の場所に置いています。また、事業所研修会を通じてマニュアルの確認等を行っています。 ・緊急時対応、防犯、感染症各マニュアルは事業所の玄関に提示し、ご家族含め、誰でも閲覧できる状態にしています。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
非常時等の対応	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	7				18	3		4		・年2回(火災・地震等想定)の防火・防災の避難訓練を実施しています。
	3	服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施	7				19			6	小さなことでも連絡頂いて恐縮です。ありがとうございます。	・服薬に関しては、ご家族から依頼があった際には対応しています。服薬の際の状況や服薬時間等を記入してご家族にお伝えしています。 ・てんかん発作の場合は、その子どもの対応マニュアルに沿って対応し、発作の際の前後の状況、発作時間等を記入してご家族にお知らせしています。
	4	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	6	1								・契約時のアセスメントの際に食物アレルギー等の確認を行っています。 ・ご家族を通して医師からの指示に基づき対応しています。
	5	安全管理の徹底	7				19			6		・事業所の安全計画に基づいて、対応しています。 ・子どもが安全安楽に過ごして頂けるように、特性や状況に応じて支援させて頂いています。 ・また、補完的な役割として、死角になるような場所には見守りカメラを設置して対応しています。 ・送迎に関しても、必要に応じて添乗をつけています。 また、送迎の乗り降りの見落としを防ぐために該当車には安全装置(置き去り防止ブザー)を取り付けています。
	6	家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	6	1			21		1	3		・ご家族に送付すると共に事業所の玄関口に提示しています。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
	7	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	7									・職員の小さな気づきからヒヤリハット報告を作成し、職員間で必ず話し合いを行い、共有を図っています。
	8	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	7									・虐待防止委員会及び法人全体研修、事業所内研修で虐待防止に関する研修を行っています。また、外部研修にも参加し、職員間で情報共有を図っています。
	9	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	7									・ご家族からの依頼で、ヘッドキャップを着用していますが、ご家族には十分な説明を行い、同意書にサインを頂いています。また、放課後等デイサービス計画にも記載しています。